

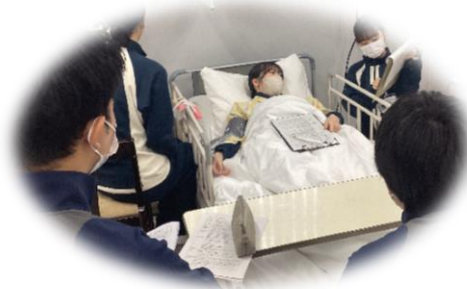
『多職種連携の実際』の交流授業を行いました

令和7年12月15日（月）、和歌山リハビリテーション専門職大学の4年生と学院の3年生で交流授業を行いました。昨年、お互いの職種について一緒に学んだ学生同士です。1年振りに、全ての病院実習を終えての再会です。今回は、昨年度の学習から一歩進み、転倒し大腿骨を骨折した高齢女性が入院、手術、リハビリ、退院という事例で学習しました。各場面において、それぞれの職種がどのように関わっているのか、そして、連携をどう図っていくか、患者さんが「よりよい状態になるために」を一緒に考え、考えた内容を患者役、看護師役、理学療法士役になり実践を交え説明しました。

目標・計画について話あっている様子



基礎看護学実習室でお互いが患者さんにどのように介入するのかを説明、実践している様子。



今回の交流授業を通して、より一層、多職種が連携することの重要性を理解することができました。お互いに夢をかなえて就職してから、しっかり連携していきたいです。

